

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371501038
事業所名	グループホーム あさひ名東

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価
	散歩時に地域の方に挨拶したり、町内会の行事や子供の運動会、秋祭り等に参加している。また、消防団や老人会とのかかわりもある。地元の方の意見を受け、地域への働きかけは急がず地道にと考えており、ようやく地域で存在が認められ、総会で紹介されるようになった。子ども110番の受託やボランティアの受け入れもしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価
	偶数月に開催され、この1年間で6回の開催が確認された。町内会長、相談役、家族、提携医、介護支援専門員が参加し、ホームの現況や入居者の様子、活動報告、行事予定等を報告している。往診時の医師の参加で医療面の情報も得られる。外部の人の目でホームの評価をしてもらったり、認知症に関わっている地域の介護者からの話や、地域活動への取り組み等、意見や助言をもらいサービに活かしている。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価
	区役所介護保険課へ更新申請時やホームでの敬老会の案内を持参しながら訪問している。食事の摂取カロリーを相談した際には、保健所から資料をもらい現在メニュー作りに役立っている。また、生活環境面では保健所の協力でホーム内の騒音を計測してもらい、相互に協働関係ができています。区役所での講習会には自主的に参加している。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価
	家族会や意見箱はなく、管理者や職員は家族の来所時に声をかけ、状況を伝えながらコミュニケーションを図り、意見や要望を気軽に話せるような雰囲気作りに努めている。内容によっては看護師が対応する場合もある。ホーム便りでイベントへの参加を呼びかけたり、以前入居の家族も招待して家族同志の交流の場を設けている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×				

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。